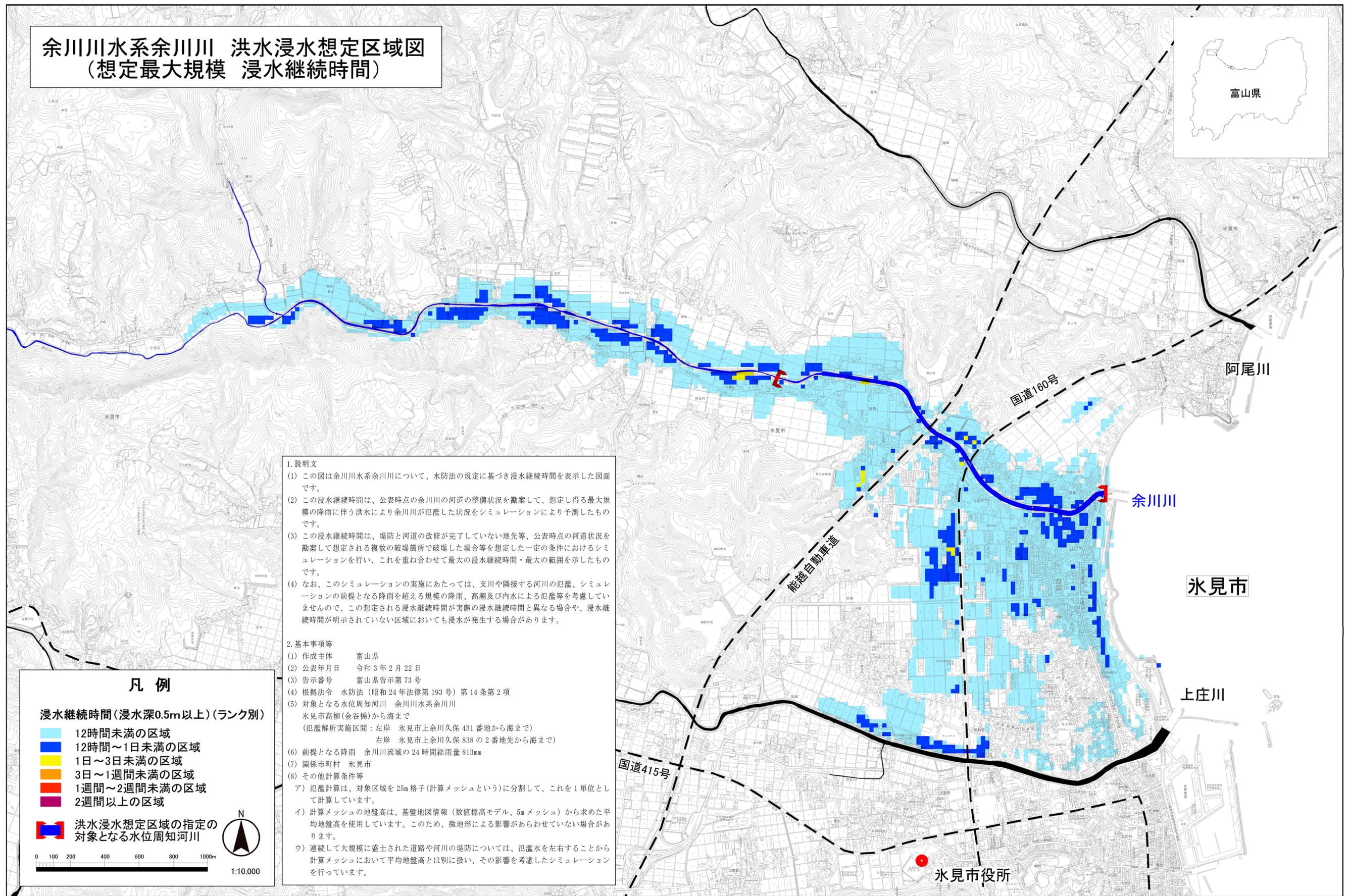


余川水系余川川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模 浸水継続時間)



1. 説明文

- この図は余川水系余川川について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
- この浸水継続時間は、公表時点の余川川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により余川川が氾濫した状況をシミュレーションにより予測したものです。
- この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破堤箇所等破堤した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間・最大の範囲を示したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2. 基本事項等

- 作成主体 富山県
- 公表年月日 令和3年2月22日
- 告示番号 富山県告示第73号
- 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- 対象となる水位周知河川 余川水系余川川
氷見市高柳(金谷橋)から海まで
(氾濫解析実施区間: 左岸 氷見市上余川久保431番地から海まで)
右岸 氷見市上余川久保838の2番地先から海まで)
- 前提となる降雨 余川川流域の24時間総雨量813mm
- 関係市町村 氷見市
- その他計算条件等
 - ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。
 - イ) 計算メッシュの地盤高は、基盤地図情報(数値標高モデル、5mメッシュ)から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわせない場合があります。
 - ウ) 連続して大規模に盛土された道路や河川の堤防については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

凡例

浸水継続時間(浸水深0.5m以上)(ランク別)

- 12時間未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1週間～2週間未満の区域
- 2週間以上の区域

■ 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

0 100 200 400 600 800 1000m

1:10,000

富山県

阿尾川

国道160号

余川川

能登自動車道

氷見市

上庄川

国道415号

氷見市役所